

# AI参考ガイド

## AIの責任ある活用の原則

チューリッヒは、「データとAIの責任ある活用に関する取り組み」に従い、AI技術を安全かつ責任を持って、そしてお客さまのために活用するための方針を共有しています。

**安全性：**チューリッヒでは、リスク管理の枠組みを適用し、AIとデータを安全かつ保護された環境で運用しています。

**透明性：**チューリッヒでは、お客さまがAIと対話している際に、明確なラベルまたは免責事項を開示し、AIの結果がどのように導かれたかを説明することができるようになります。

**説明責任：**チューリッヒの行動指針に沿って、誠実に行動し、適切な顧客対応と責任を持ってAIを使用することを約束しています。

**信頼性：**チューリッヒにおけるAIの使用は、有害なバイアスを防ぎ、潜在的なリスクを特定して軽減するために**人による監視**の対象となります。

## ガバナンス

AIの責任ある活用の原則に加え、私たちのAIの使用は、行動指針、データ・プライバシー、情報セキュリティ、サードパーティー・ガバナンス・フレームワークなどのポリシーやポリシー・マニュアル、人工知能評価・フレームワーク（AIAF）ガイダンスによってサポートされています。このガイダンスは、AIシステムのライフサイクル全体にわたって、正確性、説明可能性、公性の観点からAIシステムを評価するための業界のベストプラクティスを組み込んでいます。

詳細は、AIガバナンスのローカルエキスパートまたはローカルのコンプライアンス部にお問い合わせください。

